

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成31年2月14日(2019.2.14)

【公開番号】特開2017-213109(P2017-213109A)

【公開日】平成29年12月7日(2017.12.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-047

【出願番号】特願2016-107963(P2016-107963)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月28日(2018.12.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技球が流下可能な遊技領域と、

前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入賞口と、

所定の実行条件の成立により、遊技者に有利な遊技利益を付与可能な特別遊技を実行する特別遊技実行手段と、

前記特別遊技中に実行される演出を制御可能な制御手段と、を備え、

前記特別遊技中に実行される演出として、前記特別遊技中に開始され得る特定期間において視認可能に実行される第1演出と、前記第1演出と異なる演出であって前記入賞口への遊技球の入球に基づく所定条件が成立すると聽認可能に特定音声を出力する第2演出と、を少なくとも備えた遊技機であって、

前記制御手段は、

前記特定期間において前記第2演出における前記特定音声を聽認不能に制御可能であることを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

(1) 本発明は、遊技球が流下可能な遊技領域と、前記遊技領域を流下する遊技球が入球可能な入賞口と、所定の実行条件の成立により、遊技者に有利な遊技利益を付与可能な特別遊技を実行する特別遊技実行手段(メインC P U 1 0 1)と、前記特別遊技中に実行される演出を制御可能な制御手段(サブC P U 3 0 1)と、を備え、前記特別遊技中に実行される演出として、前記特別遊技中に開始され得る特定期間(特別遊技が開始されてから11秒間、特別遊技が開始されてから80秒間、3ラウンド目のラウンド遊技が開始時から2秒間)において視認可能に実行される第1演出(特別動画の表示、上乗せ報知演出)と、前記第1演出と異なる演出であって前記入賞口への遊技球の入球に基づく所定条件が成立すると聽認可能に特定音声を出力する第2演出(通常入賞音の出力、特殊入賞音の

出力)と、を少なくとも備えた遊技機(パチンコ機P)であって、前記制御手段は、前記特定期間において前記第2演出における前記特定音声を聽認不能に制御可能であることを特徴とする。

ここで、所定の実行条件の成立とは、所定の抽選手段により特別遊技の実行が決定されたこと、遊技球が流下可能な遊技領域に設けられた特別領域に遊技球が進入したこと等が挙げられる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

本発明に係る遊技機においては、特別遊技中において第1演出が実行される特定期間においては、演出実行条件が成立したとしても第2演出の実行が制限されるようになっている。したがって、本発明に係る遊技機によれば、特別遊技中において第1演出が実行される場合には、遊技者の意識を第1演出に集中させることができ、遊技者の興趣を高めることができるのである。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】